

11月13日 熊本県市町村自治会館

平成30年度第2回広報委員会

2018年度の事業中間報告及び 2019年度の事業計画について協議

平成30年11月13日(火)に熊本県市町村自治会館において、各地区(県・国保組合を含む)から広報委員14名が出席し、苓北町福祉保健課健康増進室長の本田保副委員長を議長として開催された。まず、平成30年度に実施している広報共同事業及び広報事業についての中間報告を事務局から説明した。つぎに、「2019年度の事業計画」について協議を行い、次年度においてもテレビ・ラジオ放送並びにポスター制作などの広報事業を通して、国保制度の啓発・周知を行っていくことで決定された。また、第1回広報委員会で継続協議となっていた「CM広報効果測定」について再度協議を行い、各市町村において被保険者に対するアンケート調査を行うことで決定した。

【 平成30年度事業中間報告 】

(1) 広報共同事業

平成30年度に九州5県(福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県)で共同制作したテレビ・ラジオCM(イメージタレント:上白石萌歌さん)の映像確認及びスチール写真等について事務局から報告した。

また、広報ポスター及びスイングポップについては、ポスター4社・スイングポップ3社の企画提案業者から企画提案があり、広報委員による採点結果において決定した。

第1回広報委員会で継続協議となっていた、「CM広報効果測定」については、制作したテレビ・ラジオCMを「いつ、どのような時間に放送することが望ましいのか」を把握し、今後の放送計画に活かすことを目的に、アンケート調査を行うことで決定した。



特定健診受診促進



保険料(税) 収納促進

(2) 広報事業

WEB版広報「国保くまもと」のHP掲載、統計資料のHP掲載、国保新聞の配付、健康まつり貸出物品の貸出状況について、事務局から報告した。

【 2019年度事業計画 】

(1) 広報共同事業

これまで九州5県で共同制作していたテレビ・ラジオCMについて、2019年度から本県のみで地域密着型のテレビ・ラジオCMを制作し、国保制度の周知啓発を行う。広報内容については、以下の3つで決定した。

- ① 特定健診受診促進篇
- ② 保険料(税)収納促進篇
- ③ ジェネリック医薬品普及促進篇

また、ポスターについても制作を行うことで決定したが、広報内容については継続協議となった。

(2) 広報事業

WEB版広報「国保くまもと」のHP掲載、統計資料のHP掲載については、継続し
行っていくことで決定した。

また、本会から配付する国保新聞については、配布枚数を次のとおりとすること
で承認された。

《 平成30年度配付枚数 》			《 2019年度以降配付枚数 》	
熊本市	6部	→	熊本市	6部
市	6部	→	市	3部
町村	4部	→	町村	2部
国保組合	1部	→	国保組合	1部